

## くじの方法

開札の結果、落札となるべき価格の入札をした者が2者以上あるときは、「くじ」により落札者を決定する。手順は以下のとおりとする。

## 1 入札書の「くじ申込番号」欄に任意の値を記入

入札参加者は、くじを行う場合に備えて、入札書の「くじ申込番号」欄にあらかじめ任意の3桁の値(000～999)を記入する。

なお、記入のない場合などは、「000」の数値が記載されたものとみなす。

書留お問い合わせ番号(書留引受番号)は郵便追跡用に使用する番号で、  
 \*\*\* (3桁) - \*\* (2桁) - \*\*\*\*\* (5桁) - \* (1桁) 合計11桁で表示された番号

## 2 くじの手順

- (1) 書留お問い合わせ番号(11桁)の下4桁の小さいものから順に「抽選番号」(0、1、2、3、…)を付与する。
- (2) 同額入札の入札書に記載された任意の「くじ申込番号」を合計し、その合計額を同額入札者の数で除算し、余りを算出する。
- (3) 上記(2)の計算結果による余りと一致した上記(1)の「抽選番号」の入札参加者を落札者とする。

例) 入札参加者3者が同額入札の場合

- (1) 書留お問い合わせ番号(11桁)の下4桁の小さいものから順に「抽選番号」(0、1、2、…)を付与する。

(※下4桁が同一の数値になった場合は、下5桁目以降高い桁の数値を順次参照し、数値の小さいものから順に抽選番号を付与する。)

事業者名	任意のくじ番号	お問い合わせ番号	抽選番号
A社	009	***-**-**123-4	0
B社	085	***-**-**258-3	1
C社	982	***-**-**489-1	2

- (2) くじ番号の和を求め、同額入札者数で除算し、余りを算出する。

$$009(A社) + 085(B社) + 982(C社) = 1076$$

$$1076 \div 3(者) = 358 \dots 余り2$$

- (3) 落札者の決定

事業者名	抽選番号	落札
A社	0	
B社	1	
C社	2	○

※抽選番号と余りが一致